

様式第5号(第6条関係)

令和5年4月10日

湖西市議会議員
馬場 衛 様

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和4年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000 円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費	17,010	国土交通省ほか陳情活動経費
研修費	10,310	公衆衛生関係研修等の受講
資料作成費		
資料購入費	57,820	行政関係参考資料の購入
合計	85,140	

3 残額 34,860 円

湖西市議会
令和5年4月10日
馬場 衛

様式第6号(第7条関係)

会計帳簿

令和4年度 政務活動費

単位:円

支出番号	年月日	項目	主な内容	収入	支出	残額
	R 4. 4.20		政務活動費	120,000		120,000
1	R 4. 4.22	資料購入費	情報誌「議員NAVI」購読費 (R4.5~R5.3月分)		18,150	101,850
2	R 4. 4.22	資料購入費	「しんぶん赤旗」日曜版 4~9月分購読費		5,580	96,270
3	R 4. 4.22	資料購入費	週刊「教育資料」購読費		10,890	85,380
4	R 4. 5.27	資料購入費	書籍「日経グローバル」共同購入費		13,260	72,120
5	R 4.10.25	資料購入費	「しんぶん赤旗」日曜版 10~3月分購読費		5,580	66,540
6	R 4.11.16	研修費	「災害時のし尿処理研修会」参加に伴う交通費		5,940	60,600
7	R 4.11.21	要請・陳情活動費	国土交通省ほか陳情活動に伴う交通費		17,010	43,590
8	R 4.12.16	資料購入費	「災害時のトイレ対策研修会」参考図書購入費		4,360	39,230
9	R 5. 2.16	研修費	「農地活用シンポジウム」参加に伴う交通費		4,370	34,860
			計	120,000	85,140	34,860

様式第7号（第7条関係）

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

会計年度	令和4年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額 1,8150 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 4月22日	資料購入費	第一法規(株)	18,150 円	●資料名 ウェブマガジン 「議員NAVI」 ●領収書との差額 (1,650 円) ・令和5年4月分を削除
		その他 ()		円	
支出目的	行政全般に係る情報収集のために「議員NAVI」を購入し、議員活動に役立てる。(購読期間/1年間。算入はR4.5~R5.3の11か月分)				
備考	主な内容 ・国や地方の動向、先進事例や条例、議会に関する情報がタイムリーに掲載されている。国の法律の動向や法律に係る正確な情報が得られる。その他の行政情報や参考情報を知ることができる等。				

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
- ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

随時支払科目 振替払込請求書
加入者負担 兼受領証

第一法規株式会社

千 百 十 万 千 百 十 円
1 9 8 0 0

振込先 湖西市議会議員 吉田建二 様
(097-004397-0007)

口座 振替
N94150015
04-04-22
湖西吉美
簡易
郵便局
(23706)

この受領証は、大切に保管してください。振込先を誤認しないこと。 (CVS特備品)

請求書

：吉田 建二 様

2022年 4月 11日

〒100
東京
第
代
11番17号
株式会社
中英

ご請求額	¥19,800	お客様番号	097-004397-0007	請求書番号	2243960	お支払期限日	2022/ 5/31						
取引年月日	2022/ 5/ 1	商品名	議員NAVI Plus	明細期間	2022/ 5~2023/ 4	数量	1	単価	19800	金額	19800	備考	

この金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

金額(税込)	
10%対象	19800
合計	19800

様式第7号 (第7条関係)

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 吉田建二

会計年度	令和4年度	支出番号	2		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		5,580 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 4月22日	資料 購入費	赤旗浜松出張 所	5,580 円	●資料名 しんぶん赤旗・日曜版
		その他 ()		円	
支出目的	市民の多様な意見や活動等の情報を収取するため、しんぶん赤旗を購読し、議員活動に役立てる。				
備考	購読期間 4月～9月の6か月間				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収証 吉田建二 様 No. 40

金額 5,580

内訳
現金
小切手 /
手形 /

但しんぶん赤旗「日曜版購読料」2022年4月～2022年9月
令和4年4月22日 上記正に領収いたしました

消費税額等(%)
消費税額等(%)

赤旗浜松出張所 収入印紙
〒439-0122 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-2141
登録番号

様式第7号(第7条関係)

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

会計年度	令和4年度	支出番号	3		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額 10,890 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 4月22日	資料 購入費	(株)教育公論社	10,890 円	●資料名 週刊「教育資料」
		その他 ()		円	
支出目的	学校経営に係る情報収集のために「教育資料」を購入し、議員活動に役立てる。(購読期間/3か月間)				
備考	主な内容 ・教育に関する国や地方の動向や先進事例などの情報がタイムリーに掲載されている。自治体における教育行政の運営に関して有効な参考情報を知ることができる。				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

加入者名 金額 振込先 銀行 支店

教育公論社

千 百 十 万 千 百 十 円

1 0 8 9 0

539614

依頼人 吉田 建二

料 金 日 附 4.4.22

備考

CVS 収納用取入印紙貼付欄

(印) 株式会社教育公論社

(印) 4.4.22

(印) 3706

(印) (ゆうちょ銀行)

請求書

2022年 4月 5日

株式会社教育公論社

代 理 人 吉田 建二 様

東京都港区
電話 03-XXXX-XXXX

「週刊教育資料」をご購読期りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

- 振替払込
- 銀行振込
- 口座名義

合計請求額	10,890 円	読者コード		請求書番号	0004507205
(内税) 【お願い】 銀行からの送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。					
品名	部数	期間	金額	備考	
前回請求額			円		
今回入金額			円		
差引繰越額			円		
今回請求額	週刊教育資料	1部	3ヶ月分	10,890 円	2022/04-2022/06
合計請求額	週刊教育資料	1部	3ヶ月分	10,890 円	2022/04-2022/06

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

株式会社 日経BPマーケティング発行「日経グローバル」を下記の議員で
共同購入し、費用は各議員が均等に負担します。

令和4年 5月27日

会計年度	令和4年度	支出番号	4		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 13,260 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 5月27日	資料 購入費	(株)日経BP マーケティング	13,260 円	●資料名 日経グローバル
		その他 ()		円	
支出目的	行政等に関連した情報を幅広く収集するために、有志議員7名で共同購読し、議員活動に役立てる。				
備考	購読期間 4月～3月の1年間				

	議員名	押印	金額	備考
1	馬場 衛		13,260 円	
2	竹内 祐子		13,260 円	
3	吉田 建二		13,260 円	
4	高柳 達弥		13,286 円	領収書等 原本保管
5	三上 元		13,260 円	
6	滝本 幸夫		13,260 円	
7	加藤 治司		13,260 円	

1人あたりの金額：(年間購読料 92,400 円 + 振込手数料 446 円) ÷ 7人
= 13,260 円 × 6人
+ 13,286 円 × 1人 (代表取扱者、端数処理)

振替払込請求書兼受領証

株式会社 日経BPマーケティング

千 百 十 万 千 百 十 円
9 2 4 0 0

湖西市役所 議会事務局 様

請求コード
10081542202204000001

(消費税込) 446 円 日 附 印
04-05-27
湖西郵便局

現金払 (23128)
N94140001

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこる、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

この受領証は大切に、保管してください。

様式第7号 (第7条関係)

支 出 伝 票

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

領 収 証 吉 田 建 二 様 No. 50

金額 5,940

内訳
現金 但し、本会振込用貯蓄口座 2025年10月
小切手 令和4年10月25日 上記正に領収いたしました
手形

消費税額等(%)
消費税額等(%)

赤旗浜松出張所 収入印紙
〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17
TEL (053) 474-2141

登録番号 QR1621

会計年度	令和 4 年度	支出番号	6		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		5,940 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和4年 11月16日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	5,940 円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	市民生活を守るために地震や風水害に伴うトイレ・し尿処理の対応について学ぶための研修参加に伴う交通費。				
備考	研修会場 静岡市 清水文化会館「マリナート」小ホール 研修名 「災害時のトイレ・し尿処理研修会」				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先: 静岡市清水文化会館マリナート 出張日: 11月16日
 出張者: 吉田建二

駅-No 1244 領収書-No 38
 窓口-No 102
 領 収 書
 吉田建二 様
 金額 ￥5,940円
 「消費税等込み」
 但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました
 2022年11月16日
 東海旅客鉄道株式会社
 お願いいたします

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



駅-No 1244 領収書-No 38
 窓口-No 102
 領 収 書
 吉田建二 様
 金額 ￥5,940円
 「消費税等込み」
 但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました
 2022年11月16日
 東海旅客鉄道株式会社
 ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ⇨ 清水	107.6	1,980	
			清水 ⇨ 鷺津	107.6	1,980	
		新幹線 特急等	浜松 ⇨ 静岡	76.9	990	自由席
			静岡 ⇨ 浜松	76.9	990	自由席
	線	普通				
小計					5,940	
代						
代						
小計					5,940 円	
宿泊料		泊		円		
		泊		円		
合計					5,940 円	
行程略図						
11月16日 鷺津 ○ 東海道本線 浜松 ○ 東海道新幹線 静岡 ○ 東海道本線 清水 ○ <研修会参加> 静岡市清水文化会館マリナート 清水 ○ 東海道本線 静岡 ○ 東海道新幹線 浜松 ○ 東海道本線 鷺津						

令和4年11月30日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員

吉田 建二

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期間	令和4年11月16日(水)
場所	静岡市清水文化会館「マリナート」小ホール
内容	<p>地震による被害のほか、近年数多く発生している風水害に伴うトイレ・し尿処理に係る被害者支援の実情を学ぶことにより、災害への的確な備えを行う。</p> <p>また、業界としては行政の対策に貢献できるよう取り組みを進める。</p> <p>講演内容</p> <p>1. 「災害時におけるし尿の対応について」 環境省関東地方環境事務所資源循環課 巨大災害廃棄物対策専門官 杉山 善昭 氏</p> <p>2. 災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死を防ぐ～ 石巻赤十字病院 副院長 植田 信策 氏 一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事</p> <p>3. 地方公共団体と関連団体との連携による衛生的なトイレ環境の確保 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 氏</p>



目的 (市政との関連性)	市民生活を守るために地震や風水害に伴うトイレ・し尿処理の対応について学ぶため
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理、仮設トイレ、し尿の汲み取りは自治体だけで対策マニュアルを策定するのではなく事業者の意見を取り入れ災害時に円滑な仮設トイレの設置場所や廃棄物の片づけができるように協定しておく必要がある。 ・災害関連死を防ぐためには、安心して使えるトイレ、温かい食事の提供、雑魚寝しないためのベッドが必要であることが理解できた。 ・災害時のトイレ対策としてやるべきことは、 <ol style="list-style-type: none"> 1. トイレ対策の司令塔を明確にする 2. 防災トイレ計画を作成する 3. 時間経過に応じて複数の災害用トイレを備える 4. 災害用トイレの使用方法、掃除ルールを周知する 5. 関連団体と連携する体制を構築する 以上の5点がポイントだった。 ・トイレ環境確保のためには事業者との連携が必要。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 分散備蓄による携帯トイレ支援と使用方法周知および回収に関する連携 2. 快適トイレの調達・配備と維持管理を徹底するための連携

報告詳細	
講演1 「災害時におけるし尿の対応について」	
災害廃棄物 ⇒	ごみ置き場の周知(広い土地の確保) ⇒ 事業者団体との平時からの連携体制づくりが必要。
トイレ・し尿 ⇒	<p>水害の場合は便槽に水や土砂が流入し汲み取りの依頼が多数発生</p> <p>⇒ 地域ごとに汲み取りするなど効率的な対応</p> <p>⇒ 仮設トイレの設置(設置場所リストの共有) ⇒ 和式から洋式へ</p>

- ⇒ 管理体制の構築（誰が管理するのか?）
- ⇒ 清潔に保つには住民の意識も重要
設置部署の維持管理の考え方を事前に把握しておくこと
- 災害時の浄化槽被害対策マニュアル作成⇒ 平時における災害予防の検討・実施
項目や、災害時の浄化槽の緊急対応を明確にし、被害地域の汚
水処理システムの迅速な復旧等の実現を図る。
- ⇒ いざという時に、どのような行動が必要になるか、事前にマニ
ュアルを確認しておくことが重要！

講演Ⅱ 「災害多発国日本のレジリエンス ～TKBで災害関連死～」

平成30年間で災害関連死が約4000人。熊本地震では直接死の4倍。
原因⇒東日本大震災では避難所生活による心身の疲労が最も多い。



床での雑魚寝⇒ エコノミークラス症候群、粉塵吸入による呼吸器障害、高齢者
の生活不活発病、不眠やストレスによる高血圧が認められた。

トイレの不足⇒ トイレ利用を減らすために食事や引水を減らす避難者に脱水症
状などが起こっていた。

栄養の偏った食事⇒ おにぎりや菓子パンなどの炭水化物に偏った食事、タンパ
ク質、ビタミン群の不足により身体機能や活動性の低下をもたら
した。



関連死を防ぐために「TKB48」⇒イタリアでの災害対応を参考

TKB48とは、 安心して使えるトイレ、温かい食事を提供するキッチン、雑魚寝
しないためのベッドを48時間以内に避難所に設置する。



災害関連死を防ぐためには、避難所での健康被害の未然防止を図ることが必要で
あり、そのための目標として避難所環境が改善されるようTKB48の全国普及を
進めなければならない。

被災しても人間らしい生活ができることによって、被災者が自立していくため
に必要なツールである。

講演Ⅲ 地方公共団体と関連団体との連携による衛生的なトイレ環境の確保

被災してトイレに行くまでの時間は3時間以内が4割を占めている。



仮設トイレの設置は、3日以内 ⇒34%

1ヵ月以上かかるところもある 14%

トイレを我慢するのは、くさい、汚い、暗い、怖い、寒い、遠い等。

⇒ トイレが使えなくなると衛生面の悪化、精神面でも悪循環を生む
切れ目のないトイレ環境にするためには、

携帯トイレ（トイレに袋をかぶせる）、

簡易トイレ（トイレのない所に設置）、

マンホールトイレ、仮設トイレがあるが

『トイレはあればよい』という考えは災害時に適用しない

⇒ 災害時だからこそ、安心して使用できるトイレが必要。そのためには、設置
すると共にトイレの維持管理を業者へ委託する方法がよい。

⇒ 快適なトイレは命を守るためには必要不可欠。

新潟県地域防災計画第23節トイレ対策計画が明記され、事業の体系におい
ては「トイレ対策の責任部門」を定めている。

◎研修を受講しての所感

- ・避難所を運営していくとき、トイレはあれば良いではなく、衛生的に利用で
きる体制を保持することが大事であると、改めて再認識した。
- ・トイレは使いにくくしてはいけない。衛生的に安心して使用できるトイレにす
るために、専門的なノウハウを持っている業者との連携体制を確立しておく
ことの重要性も学んだ。
- ・災害で家庭のトイレが使えないときは、一般的には公共施設や避難所などの
トイレを利用することとなる。災害時における避難所のトイレの重要性を改
めて学ばせて頂いた。
- ・研修で学んだことを、今後の活動の中で生かしていきたい。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

支出伝票

湖西市議会議員
氏名 吉田建二

会計年度	令和4年度	支出番号	7		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 17,010 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内訳
	令和4年 11月21日	交通費	東海旅客鉄道株式会社	17,010 円	●旅費内訳書との差額 (870 円) ・復路の新幹線は自由席を利用のため 530 円 ・東京メトロ不使用 340 円
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	市行政の重要事業の充実及び促進を図るため、国の関係省庁に陳情活動を行う。 陳情活動日/11月25日				
備考	陳情先省庁等 財務省、国土交通省、環境省、厚生労働省、地元選出国會議員等				

- ※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領収書 No 32
 窓口 No 102
 駅 No 1244
 額 収 書
 吉田建二 様
 金額 ¥17,010円
 「消費税等込み」
 但し、乗車券類として
 上記金額確かに領収致しました
 2022年11月21日
 東海旅客鉄道株式会社
 ご利用いただきましてありがとうございます
 印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済
 鷺津駅
 現金出納社員

領収書 No 32
 窓口 No 102
 駅 No 1244
 額 収 書
 吉田建二 様
 金額 ¥17,010円
 「消費税等込み」
 但し、乗車券類として
 上記金額確かに領収致しました
 2022年11月21日
 東海旅客鉄道株式会社
 ご利用いただきましてありがとうございます
 印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済
 鷺津駅
 現金出納社員

旅費内訳書

出張先: 東京都 出張日: 令和4年11月25日
 財務省・国土交通省・環境省・厚生労働省

出張者: 吉田建二

区分	行程(路線名・駅名等)	キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線 普通	鷺津 ⇨ 東京	276.6	4,840	
		東京 ⇨ 鷺津	276.6	4,840	
	新幹線 特急等	浜松 ⇨ 東京	257.1	3,930	指定席(通常期)
		東京 ⇨ 浜松	257.1	3,930	指定席(通常期)
	東京メトロ丸ノ内線 普通	東京 ⇨ 霞ヶ関	2.1	170	
		霞ヶ関 ⇨ 東京	2.1	170	
	小計			17,880	
	代				
代					
小計			17,880 円		
日当					
宿泊料	泊	円			
	泊	円			
合計			17,880 円		
行程略図					
11月25日 鷺津 ⇨ 東海道本線 浜松 ⇨ 東海道新幹線 東京 陳情・要望活動 東京 ⇨ 東海道新幹線 浜松 ⇨ 東海道本線 鷺津					

令和4年12月2日

湖西市議会議員 馬場 衛 様

湖西市議会議員

吉田 建二

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 4年 11月 25日 (金)
場 所	国土交通省・環境省、財務省、厚生労働省・参議院議員会館
内 容	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情をしました。 国に対する要望事項 1. 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて 2. 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について 3. 「国道1号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について 4. 一般廃棄物処理施設(ごみ焼却施設、余熱利用設備)・マテリアルリサイクル推進施設(リサイクルセンター)の整備に係る財政支援について 5. 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について
目 的 (市政との関連性)	令和5年度湖西市要望書の説明と陳情

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜松湖西豊橋道路は、必要な道路と認識しているのでしっかりと進めていきたい。地方から積極的に要望活動が続けることが早期実現につながるので、活動は続けてほしい」と、温かい言葉をいただいた。また、地方は都市計画決定等をやるようになるので協力してほしいと言われた。 ・ R4 年度補正予算では 1 兆 2500 億円の予算計上。道路補正は 3300 億円（微増）の予算を確保したので進めていきたい。 ⇒要望内容を理解していただいた。 ・ 令和 6 年 2 月からのごみ焼却施設の再稼働に向け、基幹的設備改良事業及び余熱利用設備整備に二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金、リサイクルセンターの長寿命化工事に交付金を活用し事業実施をするためのご理解はいただいた。 ・ 水道スマートメーターの財政支援については、IoT 活用推進モデルとして取り組んでおり、スマートメーターに変更することによるメリットを理解していただいた。 今後も湖西市が IoT 活用推進モデルとして取り組んでいけるように、特段の配慮をお願いした。
-----	---

<p>《報告詳細》</p> <p>◎ 国土交通省への要望活動には城内実衆議院議員が同席いただいた。</p> <p>1 「浜松湖西豊橋道路」の早期実現に向けて</p> <p>ルート決定：西側ルート⇒三河港と三ヶ日 JCT を最も短距離で接続。市街地の間を通過し生活環境への影響を抑制。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和 4 年度⇒ 「都市計画・環境アセスメントを進めるための調査」 ⇒ 5 年度予定されている調査を着実に進めることを要望。</p> <p>2 物流機能の向上を図る基幹道路の整備への支援について</p> <p>浜名湖西岸土地区画整理事業（約 4.8 ha）で、車載用電池の一大生産拠点となる事業が進められている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>国道 23 号豊橋東バイパスの供用により東西軸の幹線道路のネットワークは形成されたが市内からのアクセスは脆弱。</p>	
--	--

↓	<p>南北幹線道路となる（都）大倉戸茶屋松線は浜名湖西岸土地区画整理事業により緑の部分（区画整理事業）は進められているが、赤の部分（市）大倉戸大平線（大倉戸 IC 入口交差点～浜名湖西岸土地区画整理事業区域）を整備できるように国からの財政支援を要望した。⇒社会資本総合整備交付金事業（工業団地アクセス）</p> <p>3 「国道 1 号潮見バイパス」の交通事故削減対策事業の促進と渋滞対策について</p> <p>国道 23 号豊橋東バイパスが潮見バイパスと合流し交通量が増加した。潮見トンネル付近では追突事故が発生している。⇒景観美が抜群な為県境には工場も多く立地しさらに交通量の増加。 「道の駅潮見坂」には年間 80 万人の来場者がある。 ⇒交通事故対策事業の促進と渋滞対策を要望</p> <p>4 一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設、余熱利用設備）・マテリアルリサイクル推進施設（リサイクルセンター）の整備に係る財政支援について</p> <p>基幹的設備改良事業、余熱利用設備整備に対し補助金、交付金を安定かつ継続的に支援をお願いした。</p> <p>5 水道スマートメーターの市内全域設置に係る財政支援について</p> <p>令和 3 年度から 4 年度の 2 か年に亘り、生活基盤施設耐震化等交付金（水道事業における IoT 活用推進モデル事業）を活用して北部地区に水道スマートメーター（1800 世帯）、超音波流量計（9 基）を設置。 ⇒取得したデータを産官学による共同研究</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>流達状況の把握や残留塩素濃度の動向を把握 超音波流量計から 30 分間隔で取得するデータ活用⇒漏水の発見</p> <p>所 感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望書を提出した各要望先は、関心を示して下さり、成果の欄に記載したように理解していただけたと感じた。 ・ 「要望活動を積極的に続けることが早期の実現につながる」との言葉を、要望先の大臣政務官からいただき、要望活動の意義を改めて認識した。 ・ 今後も機会を捉え、要望事項の実現に向けて努力していきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>
---	---

様式第7号 (第7条関係)

支出伝票

湖西市議会議員

氏名 吉田建二

会計年度	令和 4 年度	支出番号	8		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費				
合計支出金額		4,360 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
		交通費		円	●旅費内訳書との差額 (円)
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
	令和4年 12月16日	資料 購入費	㈱少年写真 新聞社	4,360 円	●資料名(書籍名) 「もしもトイレがなかったら」 「元気のしるし朝うんち」
		その他 ()		円	
支出目的	災害時のトイレは必要不可欠な重要なものである。災害時におけるトイレ事情や汚水処理、感染症対策などを学ぶために購入した。				
備考	書籍の主な内容 ・もしもトイレが無かったら(重要性) ・災害時に役立つトイレとは ・良いうんちのために心がけること ・快適なトイレ生活のススメ				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領 収 書

No. 1395319

吉田 建二 様

令和 4 年 12 月 16 日

〒102-8282 東京都千代田区千代田4-7-16 市ヶ谷KTビル1
 03-3263-7401
 少年写真新聞社 代表取締役 松本 浩

¥4,360

上記金額、正に領収いたしました。

品名	単価	数量	金額	備考
書籍代金	4,360	1	4,360	
合 計			¥4,360	消費税込

取 入
印 紙

◆ 本証は再発行できませんので、紛失されないようご注意ください。

納品書 兼 請求書

発行日 2022年12月05日

お客様番号

株式会社 少年写真新聞社

〒102-8232
東京都千代田区九段南
4-7-16 市ヶ谷KITビル1

TEL: 03-3263-7401

吉田 建二 様

この度はご注文いただき誠にありがとうございます。
お手続きは、ご手配させていただいたご注文の商品が、
お手元に届いてから、2週間以内にお願いたします。
今後も皆様にお役立ていただける書籍・教材をお届けできますよう
社員一同、努力していく所存でございますので、今後ともご指導の程
よりしくお願い申し上げます。

取引日付	商 品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
2022/12/03	955 元気のしるし 朝うんち	1	2,200	2,200	消費税10%込
	728 もしもトイレがなかったら	1	1,760	1,760	消費税10%込
	5001 発送手数料	1	400	400	消費税10%込
				明細合計金額	4,360
コンビニまたは郵便局でお手続きください。後所記載は不要です。 銀行振込の場合、誠に勝手ながら送金手数料はお客様のご負担でお願いいたします。またご送金の際右のお客番号を振込人名義の前に入力してください。				ご請求額	4,360

C-05

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	少年写真新聞社
加入者名	少年写真新聞社
金額	4,360
おなまえ	吉田 建二 様
依頼人	〒102-8232 東京都千代田区九段南 4-7-16 市ヶ谷 湖西吉美 簡易郵便局
料金	110円
備考	現金払 (23706)

様式第7号 (第7条関係)

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 吉田建二

会計年度	令和 4 年度	支出番号	9		
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額 4,370 円					
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和5年 2月16日	交通費	東海旅客鉄道 株式会社	4,370 円	●旅費内訳書との差額 (990 円) ・往路は新幹線を不使用のため
		宿泊費		円	●宿泊費 円 ●夕食加算 円 ●朝食加算 円
		参加 負担金		円	●参加負担金 円 ●振込手数料 円
		資料 購入費		円	●資料名
		その他 ()		円	
支出目的	湖西市の農地の集積化等を推進するために参考となる情報を学ぶため、 農地有効活用シンポジウムを聴講した。 開催日/令和5年2月16日				
備 考	研修会場 静岡市 グランシップ (中ホール) 主な内容 ・講演「地域農業を守る～地域計画と農地の集積と集約」 ・事例発表①「障がい者就労支援事業による事業規模の拡大」 ②「花きから野菜への経営転換による規模拡大」				

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との
関連性を記入。

旅費内訳書

出張先: グランシップ

出張日: 2月16日

出張者: 吉田建二

駅No 1244 領収書No 21
窓No 102
領収書
吉田建二 様

金額 ￥4,370円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2023年2月16日
東海旅客鉄道株式会社
ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



駅No 1244 領収書No 21
窓No 102
領収書
吉田建二 様

金額 ￥4,370円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2023年2月16日
東海旅客鉄道株式会社
ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



区分		行程 (路線名・駅名等)		キロ数	金額	備考
鉄道賃	JR線	普通	鷺津 ◯ 東静岡	98.9	1,690	
			東静岡 ◯ 鷺津	98.9	1,690	
		新幹線 特急等	浜松 ◯ 静岡	76.9	990	自由席
		静岡 ◯ 浜松	76.9	990	自由席	
	線	普通	◯			
			◯			
小計					5,360	
代		◯				
代		◯				
小計					5,360 円	
宿泊料		泊		円		
		泊		円		
合計					5,360 円	
行程略図						
2月16日 鷺津 ◯ 東海道本線 浜松 ◯ 東海道新幹線 静岡 ◯ 東海道本線 東静岡 ◯ <シンポジウム参加>グランシップ 東静岡 ◯ 東海道本線 静岡 ◯ 東海道新幹線 浜松 ◯ 東海道本線 鷺津						

湖西市議会議員

氏名 吉田建二

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項目 (□にレ点)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和5年2月16日(木)		
場 所	静岡県 駿河区 東静岡 グランシップ会館 (中ホール)		
内 形	主催 静岡県/県農業会議・県農業振興公社・県農業再生協議会 「ふじのくに 農地有効活用シンポジウム」を受講 (農業振興に係る講演、優秀農業者の事例発表など)		
目 的 (市政との関連性)	湖西市における農地の集積・集約化や耕作放棄地の再生を推進するために必要となる基本的事項、又 参考となる最近の情報を学習するために、本シンポジウムに参加した。		
成 果	静岡県では地域の農地利用の最適化活動として、耕作放棄地再生活動と、農地集積・集約活動の各分野に取り組んだ優秀な農業者を、毎年度表彰している。 令和4年度は両部門において湖西市内の農業者が表彰されている。農地の集積・集約化を進め、更に農業の活性化を目指す国の政策に関することを語られた 農林水産省の課長による講演。又、経営転換による規模の拡大を実現して表彰を受けた優秀農業者による事例発表などを聴講し、多くのことを学ばせていただき、充実したシンポジウムであった。		

報告詳細

◎基調講演

「『地域農業を守る』～地域計画と農地の集積・集約～」

講師 農林水産省 経営政策課長 日向 彰 氏

- ・これまでの、地域農業の将来の在り方を定めた
「人・農地プラン」を策定し実行してきた。
- ・最近は 高齢化と人口の減少が進み、
農業者の減少と耕作放棄地が拡大する課題が生じてきた。
- ・今後に向けて 現行の「人・農地プラン」に
10年後の姿を具体的に表現した「目標地図」を策定し
合体した「地域計画」を策定し、着実に実行する。

○地域計画の策定にあたって留意したいこと

①関係機関との 役割分担の明確化
連携体制の確立と強化

静岡県、湖西市、農業委員会、
農地バンク、JA、土地改良区

②協議の進めるにあたっての留意事項

関係者の参加は幅広く呼びかける。(年代、立場、多方面から)
地域の意向を取りまとめ、その内容は公表していく。
意見が言いやすい雰囲気、時間をかけ、丁寧に進める。
関係者による話し合いをベースにしたワークショップでの合意
コーディネーター能力のある人(専門家・コンサル等)の活用
幅広く各種の情報を入手し、先例事例などを参考にする。

③協議する事項

当該区域における農業の将来の在り方
農業上の利用が行われる農用地等の区域
農用地の集積・集約化の方針
農地中間管理機構の活用方針
基盤整備事業、多様な経営体の確保・育成への取組み方針
農協等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

④地域計画の要件

農業振興地域整備計画、その他法律の規定による地域農業の振興に関する計画との調和が保持されるものであること。

農用地の効率かつ総合的利用に必要なものとして農林水産省令で定める基準に適合すること

関係者の意見聴取と地域計画の公告の実施

⑤地域計画の実現に向けた取り組み

まずは実現に向け、着実に実行することが大切。

各機関において、実現に向けた取り組み事項を明確にして実行する。

市町による地域計画の策定支援

農業委員会による農地利用の最適化

農地バンクを活用した農地の集約化

進み具合を確認する。PDCAサイクルを通じて不断の検証をする。

○従前の「人・農地プラン」に10年後の姿を表わした目標地図を合体して策定する「地域計画」の意義については参考になることが多かった。

◎事例発表

令和4年度の静岡県農地利用適正化活動表彰式において、農地集積・集約部門と耕作放棄地再生部門で、それぞれ表彰を受けられたお二人の農業者の方から、取り組んでこられた活動の概要について紹介があった。

①農地集積・集約部門

「10年間でこんなに増えました」

発表者 株式会社 すこやか 代表 鈴木 健吾 氏

障害者就労継続支援A型事業所として、平成25年から白須賀において農業を営んでいるので、10年が経過した現状の紹介があった。

利用者は38名、スタッフは10名、パート5名で、キクラゲやミニトマト、サツマイモなど8品目の農作物を生産している。

農地は白須賀と新居で、現在10haを耕作しており、将来は20haを目標としている。農地中間管理事業の活用による農地の集積、又、荒廃農地の再生にも取り組んでいる。

②耕作放棄地再生部門

「経営転換による規模拡大の実現」

発表者 農業者 谷中 正博 氏

白須賀で小松菜、玉ネギ、サツマイモなど約50品目を生産している。

平成26年から荒廃農地の再生を心掛けるとともに、経営の拡大に取り組んでこられた。

令和元年・4年度においては、静岡県と湖西市の荒廃農地再生促進事業を活用し、合計84 haの荒廃農地の再生を果たされた。

◎研修を終えて

○今回 聴講した講演内容は国の方針に関する重要な事項であったこと。又、事例発表の内容はいずれも地元で取り組んでこられた活動であったため、近親感と関心度が大きく、活動の成果を強く印象づけられた。

○今回学習したことを有効に活かしていきたい。

以上

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。